

## 輝くばかりの残余パワー交遊への誘い

諸兄には、インフルエンザも寄せ付けず、相変わらずご健勝ことと拝察しております。

この一年あつという間でしたが、幼い頃から慣れ親しんだ冬將軍を迎え、諸兄には、ホットされ「サア来い」の心境でしょう。それにしても、今夏の異常な酷暑に見舞われたこともあり、それだけでなく、リーマン・ショック以来の世界経済の復興が遅々として進まず、加えて、政治面でも推進役と成るべき、日米の新政権担当の不確かな操縦ぶりに不安は募るばかりです。あの新興国と称したアジア諸国が、年々国力増強させて、追いつき追い越せの勢いには、拍手を送ってばかりも居られない状況です。内外のニュースが飛び交う中で、暗いニュースも目立って多くなり、このままで行くと、われわれ長寿年金族の影の方も、刻々と薄くなりつつある印象も否めません。

その一方では、かねてより注目されて居る、少子化時代の若者たちは、アジア競技大会で頑張りましたねえ。各種目での大活躍、なかでも、女子の金メダルの獲得には、目を見張るものが有り、ひとまず「少子化イコール国力の衰退」との憂いから遠ざかった感ありと、感激と同時に安堵しました。寄る年波のせいで、出来れば明るいニュースだけが、画面や紙面に、飾る毎日であってほしいと強く願うのは、小生だけでしょうか。

さて、この師走初めから〔東京―青森間〕の新幹線がやっと走ることになりました。毎年二月末、熱海の会にクレバーで、ハッピーな盛岡および仙台の仲間を運んでくれた新幹線が、とうとう、本州の最北端まで足を延ばしたのです。まさに感無量です。

さぞ首を長くして、お待ちの事と存知まして、例によって来春二月の熱海の会を、諸兄の「輝くばかりの残余パワー交換会」と銘うって挙行いたしますので、ご多忙のなか、恐縮ですが右記案内の再会の席に、ご健勝なお姿を拝見できますよう、幹事一同心より願って居ります。

平成22年 師 走

幹事 佐 藤 光（まとめ役）

浦 田 隆

三 上 達 男